

第6次川崎町総合計画（案）および第2次川崎町総合戦略（案）のパブリックコメントに係るご意見と回答

No	分類	ご意見等	対応	回答
1	第6次総合計画	商工業の振興について、もう少し書き込みをした方が良くのではないかと思います。	加筆	現行計画（第5次計画）では、工業と商業を分けて施策を展開しておりましたが、策定委員会において、両施策は一体的に考え、推進していくべきではないかとの意見がありました。施策を統合したことにより、記述が網羅的になり、特に現状部分の書き込みが不足しておりましたので、ご意見をもとに加筆を行いました。貴重なご意見、ありがとうございます。
2	第2次総合戦略	新規事業創出に向けた企業支援について、K P I を創業支援セミナー参加者数としていますが、セミナーへの参加は1度きりなので、参加者数は伸び悩むのではないかと思います。	K P I の変更	いただきましたご意見をもとに、庁内関係課と協議し、K P I を「創業支援事業利用件数」に変更しました。現在町で実施している、商店街の空き店舗を活用した創業支援事業を、より多くの人が利用しやすいよう要綱等を見直し、利用促進を図ります。
3		起業・経営支援ソフトの充実と活用推進についてのK P I（中小企業人材育成事業活用数）は妥当なのか。	現状維持	中小企業人材育成事業は平成30年より開始しており、今後も継続して取組む事業であると考えています。「起業」というのは簡単なことではなく、町としても支援方法等、課題としているところがあります。豊前川崎商工会議所や観光協会等関係機関と連携しながら、事業の周知等に努め、活用を促進していきます。

No	分類	パブリックコメント後	パブリックコメント前
1	第6次総合計画	<p>(現状と課題) 地域企業の経営基盤強化に向けた取組み</p> <p>経済のグローバル化や急激に進む高齢化、人口減少等により、中小企業は厳しい環境に直面しています。</p> <p>本町においても、北部を通る国道322号バイパスと県道95号沿線に大型店舗が進出し、活性化が進む一方、既存小売店は生産年齢人口の減少による影響などから働き手や後継者が不足し、事業維持および拡大が難しくなっている現状があります。</p> <p>本町の基盤産業の中核を担っている中小企業の振興を図り、社会が一体となって地域経済の活性化に取り組むことが重要です。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>i 地域企業の育成と組織連携の強化</p> <p>小売店と行政、商工会議所、観光協会等関係団体との連携を強化し、各種イベントや商談会等へ参加するなど、「川崎町中小企業振興基本条例」に基づき、施策を推進することにより、地域経済の活性化や町民生活の向上を図ります。</p> <p>また、先端設備等の導入促進により、地域企業の生産性の向上を図るとともに、商工会議所と連携して、中小企業の人材育成助成や講習会・研修会の開催、経営指導員による窓口相談や巡回指導等を行うことで、創業および事業承継の支援や後継者不足解消に努めます。</p>	<p>(現状と課題) 経営基盤強化に向けた取組み</p> <p>経済のグローバル化や急激に進む高齢化、人口減少等により、中小企業は厳しい環境に直面しています。</p> <p>本町の基盤産業の中核を担っている中小企業の振興を図り、社会が一体となって地域経済の活性化に取り組むことが重要です。</p> <p style="text-align: center;">↓</p> <p>i 地域企業の育成と組織連携の強化</p> <p>小売店と行政、商工会議所、観光協会等関係団体との連携を強化し、各種イベントや商談会等へ参加する等、「川崎町中小企業振興基本条例」に基づき、施策を推進することにより、地域経済の活性化や町民生活の向上を図ります。</p> <p>また、先端設備等の導入促進により、地域企業の生産性の向上を図るとともに、商工会議所と連携して、中小企業の人材育成助成や講習会・研修会の開催、経営指導員による窓口相談や巡回指導等をおこなうことで、創業および事業拡大の支援や後継者不足解消に努めます。</p> <p>ii 北九州空港、苅田港の利用</p> <p>国道322号バイパスが開通することにより、北九州空港、苅田港へのアクセスおよび物流条件が飛躍的に良くなるため、工業製品等の販路拡大を図ります。</p> <p>iii 観光による商業振興</p> <p>町内の観光交流人口の増大や観光消費額の増大を目的に毎年開催するパン博を継続するとともに、特産品等の周知活動の実施や観光りんご園事業拡大を実施します。</p>

(現状と課題) 多様化する消費者ニーズ

車社会化の進展やモノ・サービスに対する価値観の変化等により、消費者ニーズは多様化しています。魅力ある商業拠点の形成やイベントの充実に努めることで、激化する消費者獲得競争に対応する必要があります。



i 観光による商業振興

町内の観光交流人口の増大や観光消費額の増大を目的に毎年開催するパン博を継続するとともに、特産品等の周知活動の実施や観光りんご園事業の拡大を進めます。

(現状と課題) 企業誘致につながる環境整備

令和元年 11 月に八丁峠道路が開通し、また、国道 322 号バイパスは令和 2 年に北九州空港まで全面開通予定であり、都市部へのアクセス向上が期待され、本町の工業ポテンシャルは高いものになりつつあります。また、超高速ブロードバンドの整備も完了し、企業が活動しやすい環境が整いつつあります。



i 企業誘致活動等の強化

八丁峠道路の開通や国道 322 号バイパスの整備を契機に、福岡市や北九州空港、苅田港等都市部へのアクセスおよび物流条件が飛躍的に良くなるため、工業製品等の販路拡大を図ります。

また、地域雇用の創出や社会減による人口減少を緩和させるため、企業の進出ニーズを把握しながら企業誘致を進めます。

(現状と課題) 企業誘致につながる環境整備

国道 322 号が北九州空港まで全面開通予定であり、北九州空港や苅田港へのアクセス向上が期待され、本町の工業ポテンシャルは高いものになりつつあります。また、超高速ブロードバンドの整備も完了し、企業が活動しやすい環境が整いつつあります。



i 企業誘致活動の強化

国道 322 号バイパスの整備を契機に、地域雇用の創出や社会減による人口減少を緩和させるため、企業の進出ニーズを把握しながら企業誘致を進めます。

No	分類	パブリックコメント後	パブリックコメント前
2	第 2 次 総 合 戦 略	新規事業創出に向けた企業支援 (K P I) 創業支援事業利用件数 創業支援事業拡充検討開始 (R 1年度) → 5人 (R 6年度)	新規事業創出に向けた企業支援 (K P I) 創業支援セミナー参加者数 8人 (H 30年度) → 10人 (R 6年度)
3		現状維持	起業・経営支援ソフトの充実と活用推進 (K P I) 中小企業人材育成事業活用数 3件 (H 30年度) → 5件 (R 6年度)